

海外研修入門報告会開催案内（案）

弘前大学農学生命科学部では、約4年ぶりに「海外研修入門」を本格的に再開し、2023年10月18日～23日に、学部2年生（4学科計8名）が台湾に渡航して現地研修を行いました。

この研修のテーマは「持続可能な地域環境づくり」で、学生たちは台湾の「自然ベースの解決策（Nature-based Solutions：自然素材の活用や自然との共生を図ったインフラ等の整備）」に焦点を当て、現地での研修と技術者・研究者・学生との交流を行いました。

現地研修では、「自然ベースの解決策」による社会インフラの実装例を学ぶために、土砂がたまりにくい形状の魚道や親水機能を備えた砂防施設、流域管理の事例を見学しました。また、大規模地震後に再建された農山村における地域防災事例やアグリツーリズム（コーヒー農園）の事例について学びました。

当研修で学んだ「自然ベースの解決策」などの成功事例について、関係者とディスカッションを行い、具体的なアイデアやアプローチを共有します。

本学部では、当研修から得られた成果が、日本の河川砂防事業、農村整備事業に関わるインフラ整備にも参考になると考え、次頁のとおり学生による報告会を開催いたします。ぜひご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【報告会の概要】

日 時：2024年2月6日（火）13：00～14：00

場 所：ハイブリッド報告会

・アクセスリンク（Teams を利用）：<https://urlzs.com/JB21K>

・弘前大学農学生命科学部 4 階 434 講義室（青森県土木系技術職員および海外研修入門の関係者のみ）

あ参加者：学部教職員・学生

青森県土木系技術職員の皆様・砂防学会東北支部の若手技術者

時間割：下表のとおり

時 間	内 容
13：00～13：10	大規模地震後の災害復興と地域づくり ～観光型コーヒー農園と防災システム～
13：10～13：20	土砂堆積しにくい魚道の開発と自然を生かした 川づくり
13：20～13：30	中興大学演習林における「自然ベースの解決 策」の実践例 ～産学官連携と観光に繋げるインフラ整備～
13：30～13：50	質疑応答（教員・学生へご質問いただけます）

問い合わせ先：弘前大学 農学生命科学部 地域環境工学科

鄒青穎 (Tsou, Ching-Ying) tsou.chingying@hirosaki-u.ac.jp

矢田谷健一 (Yataya, Kenichi) yataya@hirosaki-u.ac.jp

【現地研修の様子】

